

笑顔あふれる学校・思いやりあふれる学校・チャレンジあふれる学校
 令和2年度 飯野中学校 学校だより 第81号

自律 挑戦 志保井が丘 協働 創造

2021.2.5発行 文責 校長 目黒 満
 教師・保護者・地域がみんなで見守り、みんなで作る学校

懇談会へのご出席、ありがとうございました

2月1日(月)に実施しました今年度初となるPTA学年懇談会へのご出席ありがとうございました。職場等で感染リスクが問題となる場合には無理をしないようにと案内文書でもお知らせしたところでしたが、各学年20名以上のご出席をいただきました。本当にありがとうございました。

各学年の懇談会場で、校長からあいさつをさせていただきましたが、やはり「顔を見てお話しできるのはいいなあ」と思いました。たいしたお話しはできませんでしたが、Face to Faceで、保護者の皆様とEye Contactを取りながら子どもたちのことをお話できてよかったです。

会が終わってから、あとどのくらいでマスクが不要になり、相手の目だけでなく表情も見ながらお話しできるのはいつになるのかな?と考えてしまいました。そんな日が一日も早く来ればいいですね。

福島県新型コロナウイルス緊急対策期間延長

新しい生活様式

 人との 間隔は2m	 症状がなくても マスクを着用	 対面会話を 避ける	 買い物は 通販も活用
 帰省・旅行は 控えめに オンラインの活用	 遊びに行くなら 屋内より屋外	 持ち帰り・出前 デリバリーを活用	 会議は オンライン

1月13日から2月7日まで福島県新型コロナウイルス緊急対策期間とし、学校も含め、県民一丸となって感染拡大予防に対応してきました。県内の感染状況を踏まえ、昨日2月4日に県対策本部会議で7日以降の対応を協議し、2月14日まで1週間の延長を決定し

ました。県民全体には、命と健康、そして医療を守るため、

- ① 「新しい生活様式」「感染リスクが高まる5つの場面」に留意して行動する
- ② 不要不急の外出を控える
- ③ 夜8時以降の飲食店営業の自粛



④ 緊急事態宣言下の10都府県及び感染拡大地域との不要不急の往来の自粛の協力が呼びかけられています。

学校では、引き続き、感染リスクの高まる学習活動には特に配慮し、感染予防を徹底していくという方向です。

感染リスクの高い教育活動として例示されているのが

- ・長時間、近距離で対面するグループワーク
- ・長時間、近距離で一斉に大きな声で話す活動
- ・近距離で活動する実験や観察
- ・室内で、近距離で行う合唱やリコーダー・鍵盤ハモニカ等の管楽器演奏
- ・近距離で活動する共同制作
- ・密集する運動や近距離で活動する調理実習

といった学習活動です。

本校では、生徒も教員も、周囲に他の人がいる場合には、常にマスク着用を徹底しています。今の時期は、卒業式に向けた合唱練習が始まり、換気と十分な距離を取った上で、全員がマスクを着けて歌っています。理科の実験では、距離をできるだけ取って行うよう配慮し、体育の時間には、呼吸が苦しくなる場面が多いので、距離を確保した上ではずしてはいますが、マスクをはずさない生徒もいます。距離に配慮し、どちらでもOKとしています。今後、家庭科の授業での調理実習が計画されていますので、その際にも調理の際にはマスク着用を徹底し、食べる場面では、調理室も被服室もどちらのテーブルもフルに使用して、距離を取って静かに黙って食べる形で実施する予定です。

今後も引き続き、ご家庭での毎日の検温と早寝・早起き・朝ご飯の徹底での健康管理・免疫力の向上を図っていただければと思います。